

2020年6月4日

## 愛育クリニック小児精神保健科及び

## 愛育相談所をご利用いただく皆様へ

愛育クリニック小児精神保健科・愛育相談所では下記の研究を実施しております。

この研究への参加を希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。不参加をお申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名	児童精神科外来の実態把握及び児童精神科臨床における養育支援プログラムの治療効果に関する後方視研究
研究責任者	愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部 研究員 細金 奈奈
本研究の目的	<p>「子どもと大人の絆を深めるプログラム」(CAREプログラム)は、米国シンシナティ子ども病院で開発されたプログラムです。温かみと一貫性の両方を兼ね備えた養育の仕方が子どもの成長に重要であることを基本理念としており、親の養育を手助けする内容となっております。本研究では、どのような子どもたちの親がこのプログラムを受け、どの程度子どもの行動の改善や親のストレス軽減の治療効果があったかを分析する目的で行います。</p> <p>このような研究により、どのような子どもの親が最も治療効果が得られるかを検証できます。児童精神科の専門施設でも、養育支援プログラムを数多く取り入れている施設はまだ少ないため、本研究の成果は他機関におけるプログラムの普及を促進すると考えられます。</p>
調査データ 該当期間	2013年4月～2020年3月までの情報を調査対象とします。 (※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です)
研究の対象となる方	1. 2013年4月～2020年3月までの期間、愛育クリニック小児精神保健科を初めて受診された方。 2. 同期間、愛育相談所にてCAREプログラムを受講された方。
研究で 利用する情報	1. 受診者に関して 年齢、性別、医学診断、初診時質問紙結果(アイバーグ子どもの問題行動評価尺度、子どもの行動チェックリスト)、CAREプログラム参加の有無 2. CAREプログラム参加者 受診者との続柄、性別、開始時のお子さんの年齢、初診からプログラム開始までの待機期間、プログラムの参加形態(個別・夫婦・集団)、プログラム参加前後における子どもの問題行動の程度(アイバーグ子ども

	の問題行動評価尺度) 及び養育ストレスの程度 (育児ストレスインデックス短縮版)、プログラム終了後のプログラム実施者の評価・総括
外部への情報提供	愛育研究所に情報は収集され、解析が行われます。研究データは特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理されます。
個人情報の取り扱い	患者様・利用者様の個人名やカルテ番号、住所、電話番号といった個人を特定する情報は収集致しません。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
お問い合わせ先	社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所 〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8 電話：03-3473-8311 担当者：児童福祉・精神保健研究部 研究員 細金 奈奈